

# 最終沈殿池の処理能力向上技術実証事業

実施者：メタウォーター(株)・JS・松本市共同研究体

最終沈殿池にろ過部を設置し、  
処理能力を量的あるいは質的に向上！

## 【技術概要】

### ① 最終沈殿池の下流側にろ過部を設置

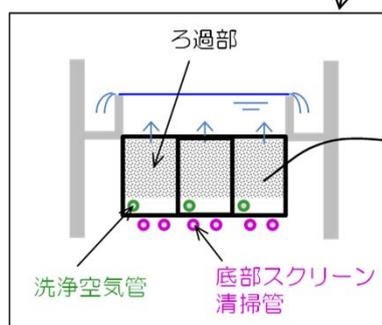
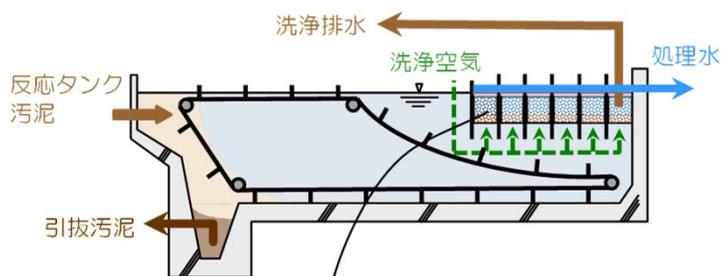
最終沈殿池の沈殿機能に「ろ過機能」を  
組み合わせ、既存の処理能力を向上

### ② 圧損の小さい円筒型ろ材を使用

既存の水位高低差で運転が可能

### ③ ろ過部をプレハブ化

現地での作業工数を削減することで、  
通水停止期間の大幅な短縮が可能



円筒型ろ材



ろ過部上部

## 導入効果

- ・終沈の系列増設が不要に(量的向上)  
処理場統合での処理能力不足を解消
- ・急速ろ過施設が不要に(質的向上)

## 《 実証成果 》

- 【量的向上】・ 既存系列と同等の処理水質を維持しつつ、  
処理水量を2倍に増加
- ・ 建設費58%縮減(終沈の系列増設と比較)

- 【質的向上】・ 既存系列の処理水量と同等での運転において、  
BOD $\leq$ 10mg/Lかつ急速ろ過同等の処理水質
- ・ 建設費71%縮減(急速ろ過施設の新設と比較)